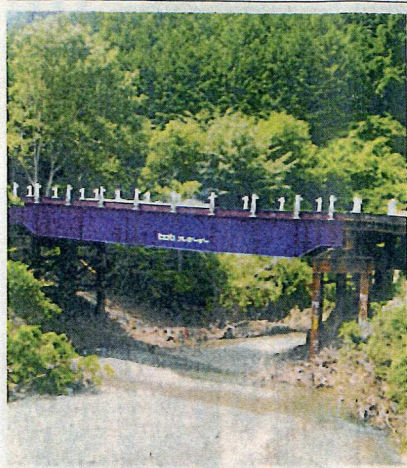


12・9・10



復旧に寄与した仮設栈橋

京都・亀岡市内の府道

仮設栈橋で復旧開通

今年4月に発生した土砂崩れの影響で全面通行止めとなっていた、京都府亀岡市内の主要地方道(府道)枚方亀岡線。仮設栈橋に

よる復旧工事が進められていたが、無事工事が完了し8月上旬から通行可能となった。

現場は亀岡市内中心部や京都縦貫自動車道から近い、枚方亀岡線の上矢田町―東別院小泉間。トラックや家用車の通行も多いという。現場は川沿いの山間で、4月12日に斜面の土砂が崩落し通行不能となった。

湾曲する川を渡る仮設栈橋の建設は6月か

ら本格化。施工は重仮設リース業の豊和スチール(本社大阪市内西区)が担当し、外注先の工事会社の協力のもと、重仮設リース大手、ヒロセの「プレガードー橋」による工事が進められた。

という工事は、6月下旬から始まり約1カ月で完工。架設の途中にも突発的な豪雨に襲われるなど大変な工事だったが、無事工期内に完了することができた(豊和スチール)。京都府南部と北摂地域を結ぶ産業・生活道路の復旧に寄与した。